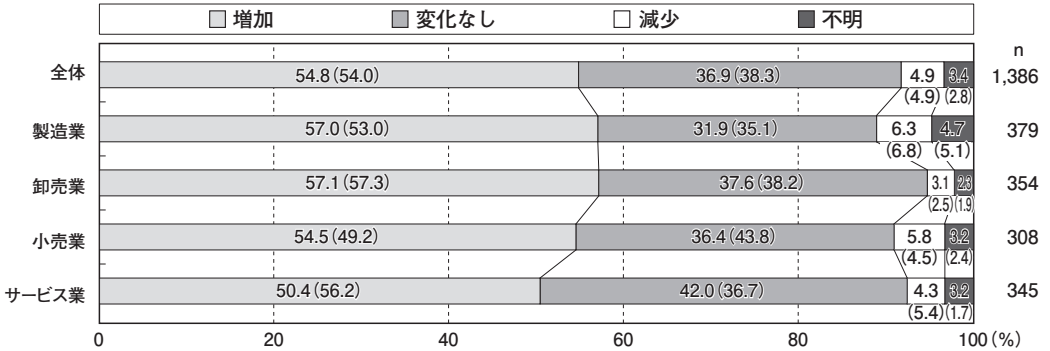


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）5月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が54.8%（前回調査54.0%）と最も高く、「変化なし」が36.9%（同38.3%）、「減少」が4.9%（同4.9%）の順で続いた。

図表5 コストの変化（前年同月比）



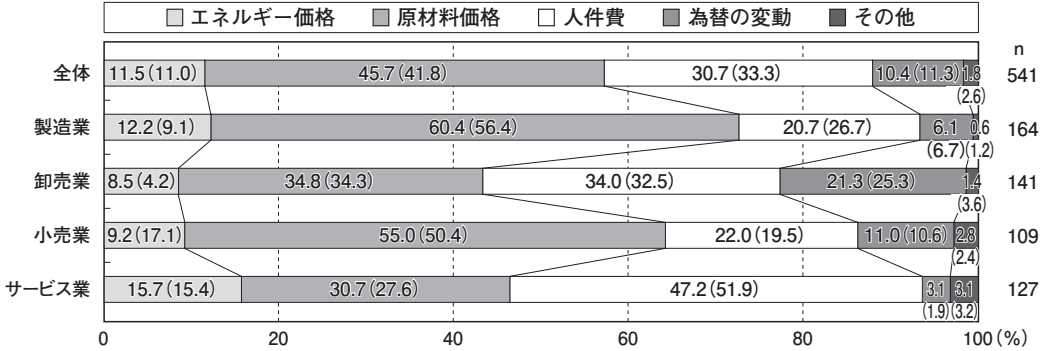
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和6年5月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が45.7%（前回調査41.8%）と最も高く、「人件費」が30.7%（同33.3%）、「エネルギー価格」が11.5%（同11.0%）、「為替の変動」が10.4%（同11.3%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が60.4%（同56.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の21.3%（同25.3%）、サービス業は「エネルギー価格」の15.7%（同15.4%）と「人件費」の47.2%（同51.9%）がそれぞれ高い。

図表6 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表5）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和6年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。